

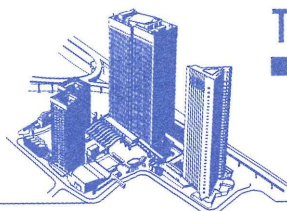


Rotary International

SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度・国際ロータリーテーマ
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

東京新南ロータリークラブ

No.877/2005.08.26

例会日/毎週金曜日12:30

例会場/東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel /03-3505-5976

Fax /03-3505-6004

E-mail/new-south@h9.dion.ne.jp

http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth

Weekly Report

東京新南ロータリークラブ週報 「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京新南ロータリークラブテーマ/小杉修造会長

●本日の例会/2005年8月26日第898回例会

卓話

「美しい歩き方」

フリーモデル 大城とし子さん

水野裕子さん

(紹介者 吉岡会員)

●先週報告/8月19日第897回例会

会長報告:2006～2007学年度青少年交換派遣学生選考試験に合格された鈴木 孟 君をご紹介します。カウンセラーは武下 朗 会員にお願い致しました。

幹事報告:①ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会開催のご案内

(日 時) 9月16日(金)例会後 13:10～14:30

(場 所) 東京全日空ホテル B1 プリズム

(テーマ) 「例会の充実と委員会活動の活性化

～奉仕プロジェクトの取組み～」

ガバナー公式訪問[10/20(木)]の準備となる重要な公式行事ですので、理事、役員、委員長は必ずご出席下さい。また会員の皆様も万障お繰り合わせ上、ご出席下さいますようお願い致します。

②東京恵比寿RCより「創立10周年記念フォーラム」(9/22)のご案内を頂きました。参加申し込みは事務局へお願い致します。(詳細後記)

親睦委員会報告:(西澤民夫委員長)

環境保全委員長コンシニさんより「愛知万博」のスペシャルツアーのご案内を頂きました。日時は9月2日～3日です。参加お申込みは事務局へお願い致します。(8/19締切り)

慶事披露:誕生日祝/尾関武男君(8月22日)

出席報告:会員52名/出席30名・欠席22名(出席規定免除者5名)
ビジター3名、ゲスト 鈴木 孟君(派遣青少年交換学生)

●次週予告/9月2日第899回例会

◎卓話予定

「消費と経済成長を考える」

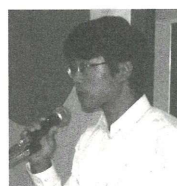
富士通総研経済研究所
上席主任 研究員

長 島 直 樹 氏

(紹介者 庄司会員)

2006～2007学年度 青少年交換派遣学生

鈴木 孟 君のご紹介



鈴木 孟君は麻布高校1年生で、この度地区青少年交換派遣学生選考試験に見事合格されました。留学期間は来年2006年7月より1年間予定ですが、留学先は未だ決まっておりません。鈴木君の希望国は、アメリカ、カナダ、フィンランドのいずれかの国とのことです。既に留学のための地区行事「ロータリー基礎研修」「サマーキャンプ富士登山」等に参加しています。鈴木君への応援よろしくをお願いします。

(カウンセラー 武下 朗)

お知らせ

東京恵比寿RC「創立10周年記念フォーラム」

(日 時) 9月22日(木) 17:00～19:35

(場 所) 六本木アカデミーヒルズ タワーホール

(主旨及び目的) 「日本を考えるー日本の国際貢献と時代を担う青少年の育成」

(基調講演) 元内閣総理大臣 中曽根康弘氏

「世界における日本の役割」

(記念講演) 国連開発計画親善大使・女優 紺野美紗子氏

「平和への願いーアフリカの子供たち」

(登 録) ロータリアンの方々は先着200名まで



8月19日/11件21,000円/本年度累計198,000円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

小杉修造/残暑お見舞い致します。土屋東一/橋本さんニコニコご苦労さまです。先々週のメイ指揮はお見事でした。福島賢哉/猛暑つづきです、お体を大切に！橋本さんのニコニコに誘われて。西澤民夫/橋本様ご苦労様です。尾上寛/東京は毎日が酷暑、でも高原は朝晩めっきり涼しくなり、もう秋です。馬場一廣/また暑くなってきました。つきなみですが、今年も残暑厳しいようです。石井謙次/お暑うございます。尾上さん先日はありがとうございました。村山公士/お暑うございます。ちょっぴりだけ夏休みをとりました。庄司泰典/尾上さん先日はお世話になりました。暑さももう少しです頑張りましょう。入沢頼二/橋本さん二回目のニコニコご苦労様です。9月9日のイニシエーションスピーチも楽しみにしております。橋本年男/昨日は紹興酒を飲み過ぎました。頭が痛いです。

2004-05年度のRI理事会の第3回会合が、2005年2月28日から3月3日まで、米国イリノイ州エバンストンのロータリー世界本部で開かれました。本会合において、理事会は、16の委員会からの報告を検討し、92項目の決定を記録しました。

管理運営に関する事項

- ①地区内クラブのうち少なくとも3分の2の支持がある限り、地区は法人化のための承認を理事会に求めることができるようになりました。
地区法人化のRIの手続では、以下が義務づけられます。
・地区内の全クラブは、法人化された地区に所属することになる。
・地区ガバナーは、法人化された地区における最高役員となる。
・地区の法人文書は、地元の法律の許す限り、RI定款と細則、および方針と一致していなければならない。
- ②理事会は、2005-06年度のロータリー・ゾーン研究会における討議のために3項目の議題を推奨しました。それらは、2005-06年度の会長強調事項、ポリオ・プラス、規定審議会です。
- ③2001年および2004年の規定審議会に提出された立法案の膨大な件数によりこれら審議会の効率と効果の低下をきたしたことに鑑み、理事会は、2007年審議会に提出する案件を5件までとするよう、各地区に奨励するものです。

ロータリークラブ会員の義務－例会

ロータリーは、まず「例会出席から」といわれています。標準ロータリークラブ定款第8条に、出席に関して書かれていますが、その第1節には、「各会員は本クラブの例会に出席すべきものとする。(後略)」とあります。

例会への出席は、ロータリークラブの会員の義務の一つになっていて、基本的に週1回開催されます。やむを得ない事情により、欠席をした場合は、その例会の前後14日以内に他のロータリークラブの例会やその他ロータリークラブ定款に定められている、他の会合に出席することによって、欠席をメークアップすることができます。

年度の半期間において、メークアップを含むクラブ例会出席率が60%に達していない場合、所属クラブの例会総数のうち少なくとも30%に出席していない場合、クラブ理事会が正当かつ十分な理由があると認めなければ、会員身分が終結することがあります。

日本の多くのクラブは、昼の12時30分～1時30分に例会を開催しています。朝または夕方に例会を開催しているクラブもあります。例会では、食事を共にし、その間、自分たちの職業や趣味などの情報交換をして、親睦や友情を深めるとともに、会員やゲストによるスピーチ(日本のロータリークラブではこのスピーチを“卓話”と呼んでいます)を聞き、ビジネスや社会情勢の最新情報や、文化、歴史、科学技術などについての知識を広めています。

各クラブの例会場所・時間は、『ロータリーの友』4月号と9月号の折り込み、または『友』のホームページ www.rotary-no-tomo.jp で調べることができます。

「ロータリーの友」8月号より

私の趣味

同業の方に勧められて、10年程前から金春流シテ方で新進気鋭の山井綱雄氏指導のもとに謡を習っております。

山井綱雄氏は、金春能楽系の家庭に生まれ6歳より能楽を学び大学卒業と同時にプロとして自立し、若い学生の指導、マスコミ、海外公演を通じて能の普及のためご活躍をされている方です。

謡の基本は腹式呼吸で声をだすことです。お腹を使い、お腹の底から息を吐き出す感じです。それによってプロの能楽師はマイクなしで能楽堂の隅々まで声を響かすことができます。普段あまり大きな声を出す機会は少ないので謡を謡っているときは体中からすべてを発散してストレス解消になり、気分爽快となります。師の稽古は月3～4回ですが、日課として毎朝20くらい謡いの練習をします。朝の目覚めはすっきりとし、謡っていると無心となり、いろいろの悩み事も吹っ飛んでゆきます。謡いのリズムも心地よさを誘い、健康法と思って毎日続けております。毎年秋に神楽坂の矢来能楽堂で発表会も励みのひとつです。また練成会といって門下生の研鑽と親睦を図る目的で年に一度伊豆で合宿を行っております。当クラブの松永さんも同じ社中の門下生です。

これも声を出すことですが、元NHKアナウンサーの酒井広さんの指導のもと朗読を習っております。酒井先生の指導は朗読というよりは一人芝居に近い形での表現を目指しており、語りという表現を使っております。これは4年目に入りました。年1回発表会を開いており、今年も3回目の発表会が五月に深川の江戸資料館の小劇場でありました。今年小生は松本清張の「左の腕」という50分ぐらいの作品を語りました。作品に合った衣装をまとい、照明と音響はプロにお願いをしております。生徒4人と酒井先生が語ります。1週間前には同じ会場、同じ状態でリハーサルをします。丁度今の時期、来年5月頃の発表会に向けて台本を選びこれから練習に入るところです。来年は筒井康隆の「五六八航空」にチャレンジしようとおもっています。月2回のペースで指導を受け、年が明けますと月2回の他に土曜日の稽古が始まります。毎回2時間ぐらいの個人指導をうけ、もっと緩急をつけろ、もっと強弱をつけろ、もっと間を取れ、言葉の語尾を上げるな、言葉を明瞭に、会話の部分はしっかり誰が話しているのか人物がわかるように語れ、といろいろの注文がつきます。恥ずかしさをかなぐりすて、全身汗をかきながら指導を受けております。酒井先生の指導方針は体で覚えろということの基本にしているようです。発表会当日は親類家族友達など聴きに來ます。舞台であまり恥じをかきたくないの練習に励まざるをえません。継続しているのは発表当日のあの緊張感がたまらないのかもしれません。先生はお酒がお好きなので毎回稽古のあとの酒も楽しみのひとつです。

ワインはあまり飲みませんが、ぶどうの種類や畑がその品質の90%をきめるといわれています。よく「ぶどうのあたり年」という言葉をききます。逆に日本酒は生成過程の90%が人の手を経てその品質をきめるといわれています。日本酒党の私としましては日本酒の生成過程と同じで、自分自身の努力や研鑽で少しずつ向上してゆくのではないかと思っております。